

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	53	コロナ感染症対策のため、今まで出来ていた外出や散歩が出来ていない。	今までのような人の多い所への外出は出来ないが、出来る限り本人の希望に添った外出や散歩で気分転換を図り、楽しみを増やしたい。	四季を感じていただけるよう定期的なドライブの実施する。(2か月に1回程度) 日光浴・足腰強化、そして楽しみを兼ねたご近所への散歩の再開する。	6ヶ月
2	38	災害マニュアルは整備されているが、実際の災害時に迅速な対応ができるかの不安はある。複数(火災・地震)を組み合わせた災害にも瞬時に対応できるよう訓練実施強化していく必要がある	想定外の災害時にも慌てず職員全員が迅速に対応ができる。	火災訓練時には消防署員による火災シミュレーションで実際の火災・防災訓練を実施する。 訓練の結果、マニュアルを見直し、マニュアルに添った訓練を定期的実施していく。	12ヶ月
3	35	窒息時などの応急対応(心肺蘇生)については経験の浅い職員もあり、その時、冷静な判断と対応ができるよう訓練強化していく必要がある。	全職員が窒息時などの応急対応を身に付けられる。	消防署の救急講習会の受講と、消防署員による心肺蘇生についての指導を受ける。 受けた指導は施設内で定期的に訓練し身に付けていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。